

製品名: UBTD1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19587**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | IHC, ICC/IF, ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 26kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | UBTD1 |
| 別名 | UBTD1; Ubiquitin domain-containing protein 1 |
| 遺伝子 ID | 80019.0 |
| SwissProt ID | Q9HAC8 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト UBTD1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200 |

背景

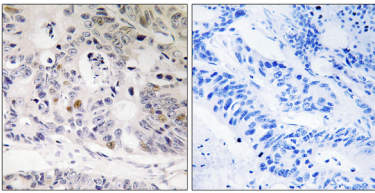
多くのタンパク質の分解はユビキチン経路によって行われ、タンパク質はポリペプチドであるユビキチンの共有結合によって分解の標的となります。この遺伝子はユビキチンファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質

は、UBE2D ファミリーに属する E2 ユビキチン結合酵素を制御すると考えられています。[RefSeq 提供、2014 年 3 月],類似性: ユビキチン様ドメインを1つ含みます。、

研究分野

-

画像データ



UBTD1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。